

点検読書ワークシート

年 組 番 氏名

点検読書とは、本を丸ごと全部読む前に、「読む本を決めるために読む」方法です。
今回は、多数刊行されている「源氏物語」の現代語訳を点検・比較してみましょう。

①書名	記号			
②現代語訳者名				
③出版者				
④出版年				
⑤参考文献が書かれている	書かれていない			
⑥索引がある	ない			
⑦注がついている○	地図がついている	イラストがある		
⑧対象	研究者	一般読者	入門者	その他()
⑨現代語訳の特徴 .				
⑩特徴的な訳文を抜き出して書いてみよう。				
⑪この現代語訳をもっと読んでみたいか、みたくないか。その理由は？				

ワークシート裏面

源氏物語 現代語訳 比較

- 1 『評釈源氏物語』 玉上琢彌訳 角川書店 s39 1964
- 2 『全訳源氏物語』 与謝野晶子訳 角川書店 s46 1971
- 3 『源氏物語』 円地文子訳 新潮社 s47 1972
- 4 『潤一郎訳源氏物語』 谷崎潤一郎訳 中央公論社 s54 1979
- 5 『新源氏物語』 田辺聖子 新潮社 s59 1984
- 6 『窯変 源氏物語』 橋本治 中央公論社 h3 1991
- 7 『源氏物語』 阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男 小学館
h6 1994
- 8 『瀬戸内寂聴 源氏物語』 瀬戸内寂聴訳 講談社 h8 1996
- 9 『大塚ひかり全訳源氏物語』 大塚ひかり訳 筑摩書房 h20 2008
- 10 『21世紀によむ日本の古典6 源氏物語』 中井和子訳
ポプラ社 h21 2009
- 11 『謹訳源氏物語』 林望訳 祥伝社 h22 2010
- 12 『源氏物語 紫の結び』 荻原規子訳 理論社 h29 2013
- 13 『源氏物語』 (池澤夏樹=個人編集 日本文学全集04) 角田光代訳
河出書房新社 h29 2017

点検読書ワークシート 生徒作品例

年 組 番 氏名

点検読書とは、本を丸ごと全部読む前に、「読む本を決めるために読む」方法です。
今回は、多数刊行されている「源氏物語」の現代語訳を点検・比較してみましょう。

①書名 玉上琢彌 評釈源氏物語	記号
②現代語訳者名 玉上琢彌	
③出版者 角川書店	
④出版年 昭和53年 (初版昭和39年)	
⑤参考文献が書かれている <input type="checkbox"/> 書かれていない <input type="checkbox"/>	
⑥索引がある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/>	
⑦注がついている <input type="checkbox"/> 地図がついている <input type="checkbox"/> イラストがある <input type="checkbox"/>	
⑧対象 研究者 <input type="checkbox"/> 一般読者 <input type="checkbox"/> 入門者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
<p>⑨現代語訳の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下で本文と訳文に分けられている。 ・原文に忠実に訳している。正確な訳である。現代人にわからない言葉は用いていない。解説を重視している。過剰と思われる。過剰と言えるほどの注釈がついている。 	
<p>⑩特徴的な訳文を抜き出して書いてみよう。</p> <p>同格、あるいはもっと地位の低い更衣は女御以上に気が気でない。</p>	
<p>⑪この現代語訳をもっと読んでみたいか、みたくないか。その理由は？</p> <p>読んでみたい。</p> <p>平安貴族のディープな風俗についても知ることができる。豆知識がいっぱいあっておもしろそう。</p> <p>細かすぎるために。今は読みたいと思わない。</p>	

1 点検読書を行う目的

- ・生徒に『源氏物語』の現代語訳が多数出版されていることを知ってもらう。
- ・比較する作業を通して、それぞれの現代語訳の特徴を掴ませる。
- ・現代語訳に触れることで、『源氏物語』の授業に積極的に参加させる。
- ・現代語訳を通して、『源氏物語』全巻の内容に興味を持たせる。

2 授業の流れ

- 1 時間目 「源氏物語」の概要説明
「光源氏の誕生（桐壺）」の音読と語釈を重視した現代語訳の授業（教科書本文 5 行程度）
「源氏物語」の難解さを体験させる。
- 2 時間目 図書館で点検読書 1
4 人 1 班でテーブルを囲む。9～10 班できる。
各テーブルに 1 タイトル、2 冊ずつ現代語訳を置く。
2 回はテーブルをローテーションで回り、点検読書を行う。
3 回目は自分で選んだ本を点検する。ワークシートを記入する。
- 3～7 時間 教科書を用いて「光源氏の誕生（桐壺）」を音読し、
解釈していく通常の授業を行う。
- 8 時間目 図書館で点検読書 2
点検読書 1 で生徒の書いたワークシートを紹介しながら 13 タイトルの現代語訳を比較させる。
今、自分が読んでみたい現代語訳を選ばせる。
実際に取って読ませる。感想の共有。
訳者の業績や著書についても関心を持たせる。